＜　大　会　要　項　＞

１、　試合形式

第１日目：予選リーグ　（全６会場、１会場３チーム、勝ち点制）

準決勝進出チームは全 18 チームでリーグ戦の勝ち点が上位の 4 チームとする。

尚、勝ち点が同点の場合は、少失点、得失点差、多得点の順で決定する。

コールド勝ち(4 点)、勝ち(3 点)、負け(0 点)

第２日目：準決勝・決勝戦

２、　この大会は関西連盟規則および特別規則に基づき実施する。

３、　試合は７回戦とする。但し、決勝戦を除き５回７失点差をもってコールドゲームを採用する。

４、　準決勝・決勝戦は７回終了時 同点の場合はタイブレークとします。(1 アウト満塁)

５、　第1日目(予選リーグ)は､時間制を採用し試合開始後2時間を経過して新しいイニングには入らない。
7 回終了時に同点の場合は各チーム最終メンバー9 人による抽選とし、勝利チームに 1 点加算し勝ちとする。

６、　会場によっては特別グラウンドルールを定める。ルールは、試合開始前に各会場役員より説明する。

７、　試合前のシートノックは７分とする。

８、　次試合のチームの主将は、前試合５回終了後、所定のメンバー表４部、試合球４球を本部に提出し、同時に審判員(または本部役員)立会いの下で攻守を決める。(ボールメーカは問いません。)

９、　アナウンス、ボールボーイ、塁審へのお茶出しは各チームでお願いします。
また、ＢＳO/スコアーボードは両チームで打ち合わせて下さい。

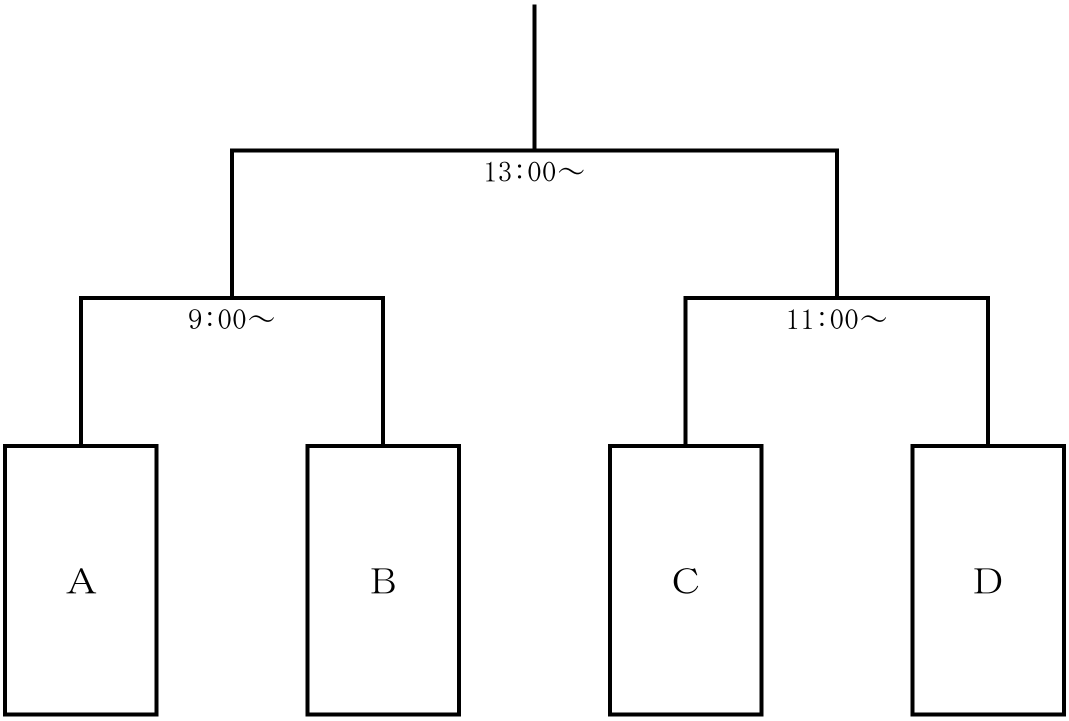
１０、　1 日目審判は各グラウンドにて行って下さい。
自チーム試合の時に 1 名ずつお願いします。(1 塁側は 1 塁審判、3 塁側は 3 塁審判、試合の無いチームは主審、2 塁審判をお願いします)
2 日目審判は、準決勝 1 試合目(2 試合目対戦チーム)、準決勝 2 試合目(1 試合目対戦チーム)、決勝戦は当リーグにて行います。(1 塁側が主審と 2 塁審判、3 塁側が 1 塁と 3 塁審判)

１１、　雨天の場合は、前日までに中止連絡をします。(初日に中止の場合は、大会中止とする)

第１２回 広島南リトルシニアリーグ会長旗争奪野球大会 組み合わせ

□　第１日目（7/26）
　　リーグ戦：広島南専用グラウンド他　左側チームが１塁側ベンチ
※　勝ち点制：コールド勝ち（４点）、勝ち（３点）、引き分けは抽選
※　父兄審判の割り当ては、自チーム試合時１塁側ベンチが１塁審判、３塁側ベンチが３塁審判
　　試合の無いチームが主審・２塁審判をお願いします。

会　場	第１試合	第２試合	第３試合
①　広島南専用グラウンド	広島北×広島佐伯	敗者×広島南	勝者×広島南
②　崇徳高校グラウンド	山陽×広島安芸	敗者×広島鯉城	勝者×広島鯉城
③　呉市総合スポーツセンター（郷原）	福山東×福山	敗者×東広島	勝者×東広島
④　広島西専用グラウンド	下関×呉中央	敗者×広島西	勝者×広島西
⑤　呉昭和専用グラウンド	広島中央×瀬戸内	敗者×呉昭和	勝者×呉昭和

☆　準決勝進出チームは全１５チームでリーグ戦の勝ち点が上位の４チームとする。
　　尚、勝ち点が同点の場合は少失点、得失点差、多得点の順で決定する。

□　第２日目（7/27）
　　準決勝・決勝戦：広島南専用グラウンド
※　準決勝の組み合わせはリーグ戦会場の若番順にＡ～Ｄに組み合わせる。
［例］会場①に準決勝進出チームがなく会場②にいる場合、そのチームが決勝トーナメントのＡ枠に入る。
※　準決勝・決勝戦は７回終了時 同点の場合はタイブレークとします。